



Cisco DNA Spaces と ServiceNow アプリケーションの統合

この章では、Cisco DNA Spaces を [ServiceNow] アプリケーションと統合する方法について説明します。

- [Cisco DNA Spaces と ServiceNow アプリケーションの統合 \(1 ページ\)](#)

Cisco DNA Spaces と ServiceNow アプリケーションの統合

この章では、Cisco DNA Spaces を [ServiceNow] アプリケーションと統合する方法について説明します。

ServiceNow

Cisco DNA Spaces は **ServiceNow** アプリケーションと統合できるため、Cisco DNA Spaces アプリから **ServiceNow** にデータを自動転送して、そのサービスを利用できます。



(注) 現在、**ServiceNow** 統合サポートは、プロキシミティレポートでのみ利用できます。

Cisco DNA Spaces と ServiceNow の統合

Cisco DNA Spaces を ServiceNow アプリケーションと統合するには、次の手順を実行します。



(注) ServiceNow アカウントがあり、必要なタスク ID を作成していることを確認してください。

手順

- ステップ 1** Cisco DNA Spaces ダッシュボードの左上に表示される 3 本線のメニューアイコンを選択します。
- ステップ 2** **[Integration]** > **[ServiceNow]** の順に選択します。
- ステップ 3** 表示される **[ServiceNow Integration]** ウィンドウで、ServiceNow アカウントの ServiceNow URL、クライアント ID、および秘密鍵を入力します。
- ステップ 4** **[Register]** をクリックします。
- ステップ 5** 手順 2 で表示される **[Authentication]** をクリックします。
ServiceNow ログインウィンドウにリダイレクトされます。
- ステップ 6** ログイン情報を入力し、**[Login]** をクリックします。
Cisco DNA Spaces が ServiceNow との接続を確立しようとしていることを示すメッセージが表示されます。
- ステップ 7** **[Allow]** をクリックして統合を認証します。
接続に成功すると、**[ServiceNow Integration]** ウィンドウに **[Active]** ステータスが表示されます。**[Disconnect]** リンクを使用していつでも切断できます。
- ステップ 8** 次に、ServiceNow アプリケーションを使用する Cisco DNA Spaces アプリで、タスク ID を設定します。たとえば、Proximity Reporting アプリで、レポートを ServiceNow アプリケーションに自動転送するには、次の手順を実行します。
- プロキシミティレポートを開きます。
 - [Create Report]** をクリックします。
 - [Look Up Summary]** ウィンドウで、レポートを生成するユーザー名または MAC アドレスを検索します。たとえば、00: で始まるすべての MAC アドレスを表示するには、**[Search]** フィールドに 00: と入力します。
見つかったすべてのデバイスの MAC アドレスが一覧表示されます。
 - レポートを生成する MAC アドレスを確認します。
 - [Time Range]** 領域で、レポートを生成する期間の開始日と終了日を入力します。
 - [Auto-submit report data to ServiceNow task]** をオンにします。
(注)
[Auto-submit report data to ServiceNow task] チェックボックスは、ステップ 1 からステップ 7 で説明した、ServiceNow と Cisco DNA Spaces との統合を認証した場合にのみ表示されます。
 - [DiagnosticTask ID]** フィールドに、ServiceNow アプリケーションで作成されたタスク ID を入力します。
(注)
[DiagnosticTask ID] フィールドは、**[Auto-submit report data to ServiceNow task]** をオンにした場合にのみ表示されます。
 - [Report Name]** フィールドに、レポートの名前を入力します。

- i) [Generate Report] をクリックします。

レポートが生成されると、このレポートは ServiceNow アプリケーションに自動的に転送されます。ServiceNow アプリケーションはこのレポートを使用して、設定されたタスク ID に関連するタスクを実行します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。